



厳冬の青山 当別町を見守る「見晴らしの水松」

平成二十年、新春のお慶びを申し上げます。二十年という節目、さらに今年はネズミ年、十二支の始まりでもあり、強く感慨を感じる。

昨年は漢字一文字の世相は「偽」であった。ミートホープ、白い恋人など北海道から全国に広まった「偽」に憤りをおぼえる。しかし一方では日本八木のリーグ優勝・コンサドーレのJ1復帰は道民に大きな感動をいただいた。平成二十年末の一文字は明るい文字を期待したい。

年が明けて青山の「見晴らしの水松（イチイ）」に行

った。当別町の開基の十倍、千三百年以上大地を見守っている。その生命力に驚嘆。これからも当別ダム completion、自立した地域社会の実現、協働によるまちづくりを青山の高台から見守ってくれるでしょう。物言わぬイチイの木に期待に応えたい。

春には皆さんも一度は「見晴らしの水松」と対面してはいかがですか。

議会広報特別委員会  
(桑内委員)

あ  
と  
が  
き

私・の・好・き・な イ・チ・イ・の・木